

「令和4年度 茨城県地球温暖化対策実行計画改定小委員会(第2回)」 審議要旨

- 1 日 時 令和4年8月24日(木) 15:15~17:25
- 2 場 所 茨城県庁12階 県民生活環境部会議室 (WEB会議)
- 3 出席者 別添資料のとおり
- 4 結 果

(1) 概 要

委員からの意見を踏まえ、計画改定を進めることとなった。

- 議事1 第1回委員会におけるご質問への回答
- 議事2 温室効果ガスの削減目標について
- 議事3 取組に係る施策体系について
- 議事4 新たな目標について(温室効果ガスの削減目標を除く)
- 議事5 「促進区域設定に係る県基準」について
- 議事6 気候変動適応計画について

(2) 委員からの意見

◆ 議事2 温室効果ガスの削減目標について

- ・(補記 電力由来の排出係数の低減によるCO2排出量の削減について) 2030年の電力由来の排出係数の低減が想定通り低減しない場合を鑑みて、「更なる再生可能エネルギーの活用を促す」等の工夫をする旨、記載されたい。
- ・(補記 再生可能エネルギーの利活用等について) 再生可能エネルギーの余剰電力(※)を利用して水素を作り、それを新たな茨城県の産業として育て上げていく戦略など考えられる。また、CO2排出量から、森林による吸収量を差し引き、CO2削減目標を設定するなど、消極的すぎないCO2削減目標を設定することが望ましい。 ※ 晴天時の太陽光発電で発電したものを想定

◆ 議事3 取組に係る施策体系について

- ・「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト」について具体的な年次進行、組織体制や進め方などに係る情報を提供してほしい。
- ・取組に係る施策体系(案)について、CO2排出量の削減効果が多いなど、必要性が高い順番に記載されたい。
- ・茨城県の廃棄物由来のCO2排出量が増加している理由について、確認されたい。
- ・茨城県のEV充電スタンドの普及実態に係る情報を提供してほしい。

◆ 議事4 新たな目標について(温室効果ガスの削減目標を除く)

- ・体系項目の取組全てに、何らかの目標を設定することが望ましい。
- ・計画の実効性を高める上で、可能な限りアウトカムとしての指標を設定することが望ましい。
- ・コミュニティ交通の利用者数について、単にコミュニティ交通の利用者数を増やすということではなく、自家用車の利用頻度を下げ、コミュニティ交通の利用頻度を上げるなど、記載方法を工夫されたい。

- ・都市構造の変革については、難しければ目標でなくても、取組という形で、県として取り組んでいることが分かるよう、記載することが望ましい。
- ・家庭部門の目標案「木造在来工法率80%」について、在来工法に限定している理由について、確認されたい。

◆ 議事5 「促進区域設定に係る県基準」について

- ・将来的には「促進区域設定に係る県基準」のマップを作成されたい。

◆ 議事6 気候変動適応計画について

- ・2030年あるいは2050年までに、適応策をどの程度まで推進するのかを整理し、記載されたい。

(五十音順、敬称略)

所 属 等	氏 名
日本女子大学 家政学部家政経済学科 教授	天野 晴子
流通経済大学 経済学部 教授	板谷 和也
国立大学法人筑波大学 名誉教授	内山 洋司
国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム領域 上級主席研究員	亀山 康子
国立研究開発法人建築研究所環境研究グループ グループ 長	桑沢 保夫
茨城県中小企業レディース中央会 副会長	柴沼 啓子
日本製鉄（株） 東日本製鉄所鹿島地区 安全環境防災部 鹿島環境防災室長	但田 賢哉
NPO 法人やみぞの森 常務理事	中村 眞紀子
国立大学法人茨城大学 監事	人見 次男
国立大学法人茨城大学 大学院 理工学研究科都市システ ム工学専攻 教授（茨城県地域気候変動適応センター長）	横木 裕宗【ご欠席】